

今、子供たちは・・・

4年生 音楽宅配便

7月7日(水)に、リーデンローズからピアニストの水永亜実子さんをお招きし、「音楽宅配便」というイベントが行われました。

プロの演奏を直接聴くことができ、貴重な体験となりました。演奏している手元がよく見えるようにスクリーンに映し出すことで、子供たちは耳だけでなく、目でも楽しむことができました。また、ピアノの音が鳴る仕組みを、模型やオルゴール、卓球の球などを使って楽しく教えていただきました。

今回の体験を通して、音楽に興味をもった子もいるようです。コロナ禍ですが、「本物」に触れる機会や実際に体験する機会を大切にしていきたいと思えます。



コラム「ジャッジ癖」

日本人は、規律正しく助け合いの精神に溢れており、世界でも称賛されています。その一方で、社会規範に合えば「○」、合わなければ「×」というジャッジを他人にも自分にもしてしまうため、他人に対して怒りを持ったり、自己嫌悪に陥ったりすることも多いようです。

子育てにおいても、宿題をしないことに腹を立てたり、細かいことについて小言を言ったり、ゲームばかりする子に「いい加減にしろさい！」と大きな声を出したり…といったことはよくあることだと思います。親や教師は、子供に幸せになってほしいと願うからこそ、社会(または自分)の「○」を子供に押し付けてしまうことがあります。許容範囲が狭い人ほど「×」を付けることが多く、ストレスも増えてしまいます。

自分が「×」だと判断した出来事も、見方を変えれば「○」かもしれません。これは「サイコロ思考」と言われ、ストレスを減らしたり、幸福感を高めたりするのに効果的です。イラっとしたときには「もしこれが『○』だとしたら…」と考えてみてください。

もし、子供が望ましくない行動をしているときは、その子がなぜそのような行動をとるのか尋ね、その感情をしっかりと認めてあげてください。そのうえで、「～だから、私はあなたに・・・してほしいな。」と、I(アイ)メッセージで伝えるとよいそうです。「感情に『YES』、行動に『NO』」、こちらを試してみてください。

お知らせとお願い



● 熱中症対策について

気温が高くなりました。学校では熱中症対策として、帽子を着用したり、こまめに水分補給をしたりするよう声をかけています。昼頃に水筒のお茶がなくなってしまう児童もいますので、大きめの水筒を持たせてあげてください。また、体育の運動時には、ソーシャルディスタンスを保ち、会話をしないという条件で、マスクを外して授業を行います。登下校時もマスクを外して構いません。その時はおしゃべりをしないようにしましょう。十分な感染症対策と熱中症対策をして、安全に過ごしてほしいと思います。

● 児童会選挙について

前期児童会役員の6年生は、千年小学校最後の年をすばらしいものにしようと、意欲的に様々な取組を進めています。例年、前期児童会役員の任期は7月までですが、今年度は後期児童会役員の任期が3月末までとなるため、前期児童会役員の任期を1か月延ばし、後期児童会役員選挙は9月に行います。